

東京工業高等専門学校		開講年度	平成28年度 (2016年度)		授業科目	エネルギー工学	
科目基礎情報							
科目番号	0001			科目区分	専門 / 選択		
授業形態	授業			単位の種別と単位数	履修単位: 1		
開設学科	物質工学科			対象学年	5		
開設期	後期			週時間数	2		
教科書/教材	安井伸郎,エネルギーの科学,三共出版/平田哲夫,エネルギー工学,森北出版						
担当教員	石井 宏幸						
到達目標							
エネルギーの消費によって支えられてきた人類の進歩、産業の発展は、環境問題の激化、資源・エネルギーの不足（または枯渇）に影響を及ぼしている。そこで、エネルギーに対する正しい理解、意識及び技術を持ちつつ着実に実行でき、且つ、複合的な観点からエネルギー問題に対応可能な技術者を育成する。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1エネルギーの基礎の理解		エネルギーの基礎w理解している。		エネルギーの基礎をしている。		エネルギーの基礎を知らない。	
評価項目2熱効率（カルノーサイクル）の理解		熱効率（カルノーサイクル）を理解している。		熱効率（カルノーサイクル）を知っている。		熱効率（カルノーサイクル）を知らない。	
評価項目3エクセルギーの理解		エクセルギーを理解している。		エクセルギーを知っている。		エクセルギーを知らない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	「エネルギー工学」は、これまで修得した化学の知識を用い、更に社会学的要素が加わった「エネルギー問題」を扱うものである。						
授業の進め方・方法	エネルギーに対する正しい知識（地理、歴史も含む）や理論（特に熱力学）の理解が必要である。幅広く俯瞰する力を育成する。						
注意点	予習をすること。授業中は、アクティブに脳を活性化させること。						
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
後期	3rdQ	1週	人類は何を使ってきたか		エネルギーの概要、歴史を知る。		
		2週	エネルギーの形		熱力学第2の法則を理解する。		
		3週	化石資源		化石資源について知る。		
		4週	電気エネルギー		電気エネルギーについて知る。		
		5週	発電方法		発電方法について知る。		
		6週	熱効率		カルノーサイクルを理解する。		
		7週	次世代エネルギー		次世代エネルギーについて知る。		
		8週	中間試験				
	4thQ	9週	ヒートポンプ		ヒートポンプについて知る。		
		10週	発電効率		発電効率について知る。		
		11週	エクセルギー		エクセルギーについて知る。		
		12週	エクセルギー演習		エクセルギーの計算が出来る。		
		13週	太陽光発電		太陽光発電について知る。		
		14週	燃料電池		燃料電池について知る。		
		15週	答案返却				
		16週					
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標			到達レベル	授業週
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	100	0	0	0	0	0	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	0	60
専門的能力	40	0	0	0	0	0	40
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0